

【施策評価調査】

施策名	4-3-1	商店街の活性化 (4-3-3 商工会等の活動支援を統合)		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ 111・112	施策目的 商店街の再生について、抜本的な解決を図るべき対策を議論し、商店街の賑わいを創出する。工芸による、町内中小企業事業者等へ経営指導活動の強化により、経営の安定と活性化を図る。
	担当部課	建設産業部 産業課	担当 リーダー		
環境変化	R宝積寺駅東口のちよっ蔵広場が整備され、人を惹きつける魅力ある場所となった。 平成20年度より、県下全商工会で、商工会現場力底上げ事業を実施して、既存事業の峻別を行い、商工会員への経営指導の強化を図っている。				施策内容 指導員の活動を強化するために助成措置を拡充するなど、商工会の活動支援を行います。また、専門的な商品を扱うなど商品の特化し、消費者が買物の目的を達成しやすいような商店街づくりを進めます。さらに、意欲ある事業者による経済活性化協議会を組織化し、新しい商業活性化手法に関する研究を行います。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：商工会経営指導回数	指標：商工会経営指導回数	計画	642回	732回	822回	912回	1,000回
		実績	889回	984回	1,818回		
指標：		計画					
指標：		実績					
指標：		計画					
指標：		実績					
指標に関する特記事項	平成20年度より、巡回指導の回数は、商工会職員全員の実施した巡回指導回数となった。(従来は、2名の経営指導員の実績)						

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	21,925,000	11,300,000	10,816,000	9,758,000	9,620,000
	決算	21,925,000	11,300,000	10,816,000		

事務事業事前評価 22年度の組立て

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)		
商工会活動支援事業費	H21 現計 9,758,000	巡回指導の回数 1,000回	町内商工業者の経営指導を強化することにより、経営の改善を促し、安定した経営と収益を確保する。また、農商工連携に係る事業や資金に関する相談など、商工業者の窓口として円滑な商工会運営を図る。	今後の方向性 (総合評価)	継続
	H22 計画 9,620,000				
	H21 現計			今後の方向性 (総合評価)	
	H22 計画				
	H21 現計			今後の方向性 (総合評価)	
	H22 計画				
	H21 現計			今後の方向性 (総合評価)	
	H22 計画				

施策事前評価 22年度の組立て

自己評価	後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
	今後の方向性 現状水準維持	商工会における事業の峻別により、会員の経営指導に力を傾注することになった。その分、商工会によるイベントの実施が縮減されている状況であるが、他の関係団体による事業を通して、商工会と協議しながら商工業の活性化を図る。	
総合評価	総合評価 「商店街の活性化」と「商工会等の活動支援」を統合することで、どういった成果とするのかが不明瞭である。経営指導をすることが「商店街の活性化」に繋がるのか？施策として事業内容を整理した上で、後期計画に向けて施策展開を検討すること。		